

農時新聞

2020年
(令和2年)

11月15日

日曜日

37号

(年4回発行)
(次回は2月12日)

久喜・加須版

- ② ▶「脱ハンコ化・久喜市来春4月1日
- ③ ▶「田舎クラブ」参加者募集中
- ③ ▶農ある暮らし推進会設立へ
- ④ ▶「東山魁夷展」11月21日～1月24日

発行所 〒347-0026 埼玉県加須市油井ヶ島1393-1(備誠農社内) TEL0480-53-4651 FAX0480-53-4652

株式会社 日刊スポーツPRESS



〒104-0045 東京都中央区築地3-5-10 / 電話 03-5550-8210

IT事業 / Web戦略・編集制作受託・印刷発送・コンテンツ配信

栗橋病院 希望の光が灯るか!?

済生会栗橋病院が加須市に移転後、久喜市栗橋地区に再び病院が誘致されるのか、医療の空白期間は生じないかが最大の焦点となっている。「栗橋地区病院跡地問題」で、久喜市は病院側との協議内容として「外来機能や救急機能を有する病院誘致について調整していると伺った」と初めて希望を灯す答弁を9月議会で示した。

外来・救急機能を有する病院誘致で調整中と回答

この答弁は山崎智子と病院長が対面方式で健康子ども未来部長と定期協議すること、田村栄子市議、井上忠昭市議、石田利春市議の各質問に答えた。同部長はコロナ禍で栗橋病院の業務が多忙になったことなどから、従来のように市長

「東病棟や地域救急センターはまだまだ使えると思うが、この活用はどうなっているか」と。また「久喜市の支援はどうなるのか」に対しては「現在の栗橋病院は地域の中核病院として医療を

担っていたらいいので、市は病院用地の無償提供や医療機器購入費に対する交付金などの支援を行っているが、(今後のことはまだ)病院も決まっていないう、どういった規模で病院経営するのかも分からない段階なので、支援などについて詳しくは伺っていない」と述べた。

済生会加須病院開院 令和4年春頃に延期

久喜市栗橋地区から加須市に移転することになっていた済生会加須病院(仮称)の開院時期が令和4年春頃に延びることになった。同病院武田一彦事務部長が10月20日、本紙

栗橋病院は平成元年7月1日に開院。移転の最大の理由は施設の老朽化。当初は施設の一部を加須市に移転する計画だったが、2年前久喜市に対し、現在地での再整備案を白紙に戻すとし、加須市に全面的に移転することを表明。その際、病院長が「地域医療の存続に向けてあらゆる可能性を排除せず努力していく」と語った一言に、市も市議会議員も一縷の望みを託している。

今春から建設工事が始まった同病院は鉄骨造り地上6階建て免震構造で延床面積は2万2800㎡。診療科目は内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、救急科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科など26科。病床数は304床(感染症病床4床含む)。事業費の概算は約1300億円。加須市約50億円の財政援助をする。

加須市在住 湯本さん考案

米袋で作ったバッグ人気

要望に応えワークショップ開催



加須市油井ヶ島在住で、無農薬・無肥料で野菜を栽培している「農ある暮らしの会」代表の湯本圭さん(41)が考案した米袋で作った「バッグ」が主婦の間で人気を博している。「30kgもお米が入る紙袋なのでバッグにしても絶対に丈夫」という。そこで、昨秋、知り合いの農家から米袋を分けてもら

って、どう作るか、靴職人でもある湯本さんは、そのノウハウを生かして、トートバッグとショルダーバッグを完成させた。湯本バッグの最大の魅力は、素材と抜群のオリジナリティだ。それと紙袋の表面を柿渋で何回塗るか、その回数で、色合いや艶が異なってくる。その妙味に惚れる人も結構多い。

不動産売却・すまい探し
土地探し・賃貸管理

すまいの相談窓口

久喜駅東口徒歩2分!

株式会社 フジハウジング 埼玉県久喜市 久喜東 2-4-1
☎0480-31-8451

GoToEat キャンペーン

肉バル ビーキッチン

GoToEat が肉バルビーキッチンで始まりました。1回のご予約 & 来店 で

ディナーなら 1000pt × 人数
ランチなら 500pt × 人数
お食事のできるポイントがもらえます

最大 1,000pt × 人数 もらえる!

肉バル ビーキッチン ☎0480-31-8126

ランチ : 月火金土 11:00 ~ 14:30
ディナー : 月火木金土 17:00 ~ 22:00

久喜駅 東口 徒歩2分

肉バルビーキッチン <https://b-kitchen.favy.jp/> GoToEat 事業について <https://gotoeat.maff.go.jp/>